

平成28年度第5回郡上市総合教育会議 要録

日 時 平成29年3月1日(水)
開会 15時30分 閉会 17時10分

会 場 郡上市役所 4階委員会室

出席者 郡上市長 日置 敏明
教育長 石田 誠
教育長職務代理者 原 初次郎
委 員 杉本 尚之
委 員 清水 るみ子
委 員 水野 秋子

【オブザーバー】

副市長 青木 修
市長公室長 三島 哲也
教育次長 細川 竜弥
農林水産部長 下平 典良
商工観光部長 福手 均

【陪 席】

郡上の高等学校の望ましいあり方を考える会
会長 大坪 裕
副会長 木下 節夫
教育委員会学校教育課長 羽土 聡
教育委員会教育総務課長 一柳 芳之
教育委員会教育総務課長補佐 長尾 英行

【事務局】

市長公室次長兼企画課長 置田 優一
市長公室企画課主幹 石田 紀美江

市長あいさつ

総合教育会議も第5回目となった。今日は「郡上の高等学校の望ましいあり方を考える会」から大坪先生と木下理事長にもご陪席いただいている。ありがとうございます。

奇しくも今日は県立高等学校の卒業式であり、私は今年郡上北高等学校の卒業式に出席してきた。今年度の卒業生は83名で、厳粛なものであり、また感慨深いものであった。これからの「郡上市の県立高等学校の望ましいあり方」についてご協議いただきたい。

なお、杉本委員におかれては、任期満了に伴い次の任期においても教育委員にご就任いただくことを、27日に全会一致で議会の同意をいただいた。ご紹介するとともに、これからもよろしくお願いを申し上げたい。

教育長あいさつ

私は郡上高等学校の卒業式に出席した。卒業生は242名であった。代表者がインフルエンザとなり急遽今日代えたとのことであったが、厳粛のなか大変良い式であった。西村校長の話の中に「ふるさとに貢献できる地域社会人となってほしい」とあり、野島県議は「ふるさととは近くにありて愛するもの」と言われた。また、答辞でも「郡上に貢献したい」という力強い言葉があった。郡上学やふるさとを大切にするなどが浸透してきているし、力が広がってきていると感じた。今後もよろしくお願ひする。

【報告事項】

- 第3回郡上の高等学校教育の望ましいあり方を考える会について …… 大坪会長
 - ・資料1（P6～P7）に基づいて説明
 - ・現在の中学1年生が3年生になった時に郡上市だけで80人、美濃地区においては130人生徒数が減少する。いち早く単位制高校について提言していただくことが郡上市の子ども達にとって大事である。
 - 第3回郡上北高校「学校活性化協議会」について …… 教育長
 - ・資料（活性化協議会議事要旨）に基づいて説明
 - 郡上市教育振興基本計画の策定について …… 教育総務課長
 - ・資料（策定委員名簿、スケジュール等）に基づいて説明
- 副市長：スケジュールで平成29年度「課題の整理」とあるが、学校体制や学校制度についての課題の整理もされるのか。例えば、市内小中学校の統廃合や幼保小中高の一貫など、内容だけでなく制度全体についても振興基本計画の中で検討されるかどうか確認したい。
- 教育次長：第1次基本計画では明確に盛り込まれていなかったが、(仮称)公共施設再配置計画で学校以外の社会体育施設などにも関わってくるので、併せて課題として捉え、検討し進めていきたい。

【議 事】

- 郡上市の県立高等学校の望ましいあり方について－提言－(案) …… 事務局
 - ・資料1に基づき、修正並びに追加内容（アンダーライン部分）について説明
- 意見交換
- 委 員：2ページの「市外からも人材を呼び込むことができる全国レベルの高校としての地域を確立」は全国募集をするものと読み取った。ご説明願いたい。
- 事務局：全国に認められるような特色ある学習活動を行っていくことが大切ということで、全国レベルと表現した。結果として市外からも子ども達が集まることに繋がっていけば良い。
- 市 長：全国募集とはどういうことか。

教育総務：基本は県内に住んでいる方に県立高等学校に入っていただく規則が整備されている。

岐阜県は全国募集が出来る規則になっていない。地域の受け入れ体制が整備されれば県として規則改正等、ある程度動きやすくなるという県教育委員会教育総務課の見解だった。

委員：県の支援は無く、受入市町村が独自で支援を実施するとあるが、考えられるハードルは何か。

教育総務：身元引受人です。

委員：郡上市では特例を設けて受入先がしっかりしていれば外国人の入学が可能にできそうか。

教育総務：県の制度改正が必要。

市長：呼べるようなレベルの高校にすることが大事。

今回議論を踏まえて提言の一番の眼目は5ページから6ページの郡上北高校のあり方についてが大きなポイント

委員：市内企業と連携し「デュアルシステム」を取り入れるとあるが、市外企業は可能か。

市長：市外企業を排除するものではない。

副市長：企業で勉強することも単位として認めて良いというのが「デュアルシステム」であり、相手企業に仕組みがあって、教師が安全も含めた範囲で配慮できる体制が整って初めて成立する。生徒の希望が認められるのは、プログラムを組むところである。原則的には市内で安全を確保して人数があって企業の協力体制があって成立する。教育の計画からはずれたり、生徒の安全が確保できないといけない。教師も定期的に企業に出向き生徒の学習や活動の様子を見て評価し、企業からの評価もないと成績がつかない。単位制については始まったばかりで課題があるため、今後研究の余地はある。

市長：「市内企業」についてはそのままとする。

6ページで、進学先のところに大学と短大は書いてあるが、専門学校はどうか。また、観光・ビジネス類型で「宿泊」も観光産業を担う大きな部分として、例示的に入れておくと良い。

事務局：「宿泊」について明確にしていないので、具体的に「宿泊業」「飲食・サービス業」を追加する。

木下：移住推進という観点から郡上留学など考えることもできる。郡上市には地域資源があるので魅力的な提案ができる。単位制普通科という議論が出てきた背景は、郡上北高等学校を残すという理論武装ではなく、人口減少や少子化という現実を踏まえて、なおかつ子ども達のためにどうあるべきかという議論であった。今流行りの「子ども達ファースト」である。

市長：3ページ下段の「高等学科編成」について表記を確認すること。

最終的に文章の整理を行うが、ご意見としてはこれで良いか。では、松川教育長に提出するが、私と教育長と大坪先生や木下理事長もいかがでしょうか。日程調整やご都合を伺うが、提言については市役所だけで考えているのではないということを示したいのでよろしくお願ひしたい。

○平成29年度の郡上市総合教育会議のテーマについて …… 事務局

- ・郡上市教育大綱の具現化とより実効性を高めるようなテーマに絞り込みたい。
- ・次期郡上市教育振興基本計画策定の進捗状況を確認しながら、次期郡上市教育大綱と共有となる事項についても総合教育会議の中で整理したい。
- ・事務局提案について、資料2に基づき説明

意見交換

委員：学校の枠を超えた「ふるさと教育」のあり方を考えるとあるが、「学校の枠を超えた」とはどういうことか。

事務局：地域とよりつながりを深めるようなあり方という意味合い。

市長：場合によっては学校同士が連携という意味も含むであろう。

事務局：学校の連携も出てくるかもしれないが、ここで意識したのは地域だった。

委員：「ふるさと教育」の現場を見学するとあるが、例えばどんな所か。

事務局：実際に学校で取り組んでいるふるさと教育を、総合教育会議の中での議論ではなく、現場を見に行き、それを活かしていくようなやり方かどうかという提案。

市長：郡上市教育大綱の「安心して学べる教育環境を整える」の中の「小規模化に対応した学校体制づくり」については、まず教育振興基本計画策定の検討で行っていただく。

（仮称）公共施設等総合管理計画などとも関連して、議論が必要。

委員：部活動の人数の適正化を見据えた学校連携なども大切ではないか。部活動のあり方を検討することによって、教職員の多忙化の解消がひいてはメンタルヘルスの充実に繋がって明るい学校づくりに還元されると思う。

教育次長：総合型地域スポーツクラブを立て直すため、法人運営できないか検討中。また部活動の連携をした場合は、移動手手段など課題が出てくる。学校教育だけでなくスポーツ振興と絡めて解決の方策がみいだせないか、教育振興基本計画の中でやっていきたい。

教育長：郡上市は土日に部活動をやっておらず、保護者クラブとして位置づけている。教師がクラブの指導員となっており、総合型のクラブと混在している。部活動で1週間とおしている多忙化と、外部指導者がいなくて教師が出ているところの問題がある。中体連も課題を感じ、整理をしている。

大坪：県では集団スポーツに限って合同チームが認められている。ただし、学校に部活動が無いと認められない。合同チーム等の施策は県中体連では考えているが、部員数の問題や部活動指導員、顧問一人での多忙化など、多くの課題が出てきている。

市長：平成29年度のテーマは、事務局から提案のあった「ふるさと教育を充実する」について総合教育会議で改めて協議し、適宜その他についても議論することによろしいか。

委員：「ふるさと教育」とは、子どもが対象か。

事務局：子ども達もありますが、公民館活動や郡上学も含まれており、幅を広めていきたい。

委員：子ども達は郡上学等で愛着も芽生えているが、大人に必要ではないか。

市長：では平成29年度の総合教育会議のテーマは、事務局から提案のあった「ふるさと教育を充実する」とし、適宜その他についても議論することによろしいか。

室長：「郡上市の県立高等学校の望ましいあり方【提言】」は県教育委員会へ年度内に提出する

予定であり日程等調整を行う。また来年度のテーマを「ふるさと教育を充実する」としてご協議いただき、平成30年度の郡上市教育振興基本計画にも反映できるような提言までもっていきたい。

教育長職務代理者あいさつ

平成28年度末の月を迎え、郡上市総合教育会議では高等学校教育一色だったが、非常招集で議論することが無かったことを嬉しく思っている。年々子どもは減っているが、行政の熱い思いと力で移住促進や結婚支援等々お願いしたい。平成29年度のテーマもお示しいただいた。一丸となって取り組みたいのでよろしく願います。お疲れ様でした。